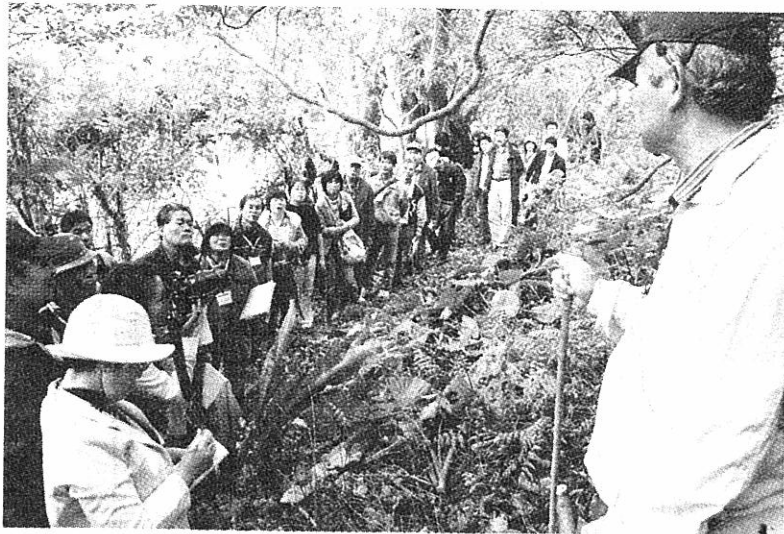


齋場御嶽の自然に感嘆

南城市ガイド養成講座

古道エコツアー体験

【南城】歴史文化や自然環境を生かし、体験・交流をテーマにした観光で地域振興を目指す、市のエコツアーガイド養成講座が二十二日から三日間、市知念久手堅の体験交流センターで行われた。市内に在住または勤務する二十八人が受講。初日の二十二日は、世界遺産・齋場(セーフア)御嶽周辺の森でのエコツアー体験を通して、齋場御嶽の自然の豊かさを学んだ。



齋場御嶽周辺の自然を学ぶエコツアーガイド養成講座の受講生ら＝南城市知念久手堅

講座は、合併前の旧知念村が二〇〇五年度に国、県の補助を受けた、沖縄・日本のルーツが見える心のふるさと整備事業の一環で、昨年に続いて二回目。

エコツアー体験は「自然学習」にスポットを当て、通常は公開されていない齋場御嶽内から久手堅集落に通じる「古道」を巡るコースで実施。前年度講座の受講生で「知念村文化財案内講師友の会」会長の屋比久清正さん(六)がガイドを務めた。

屋比久さんは「セーフアの森の深さと自然の豊かさを知ってほしい」と

話し、国内最大の蝶・オオゴマダラが飛び交い、シリケンイモリが生息する緑濃い小道を約一時間かけて案内。参加者は緑色に輝くカヌムシの群れに感嘆の声を上げ、「この木の実を食べられるのか」「ホタルはいるのか」などと質問したり、メモを取りながら歩いた。

「ナーウンター」と呼ばれる古い遺跡や集落の根人の田んぼ跡などの史跡・拝所、首里城の建材に献上した木の切り株から再生したとされる「久も学んだ」。

奄美だより

浜辺にアダン植栽

奄美市住用町 景観と浸食防止へ

「浜辺を守り、漁村の再生と活性化につなげよう」と、奄美市住用町の漁業関係者らで構成する「すみよう漁業集落」(二十五世帯、約五十人)は二十日、砂浜の浸食防止機能を持つアダン

の苗木を町内の海岸に植えた。鹿児島県の離島漁業再生支援事業を活用した活動の一環。アダンの植栽は苗木作りから始め、同町青久の畑で地元(森山重成さん)との協力を得て約一千本育ててきた。

この日、関係者は青久

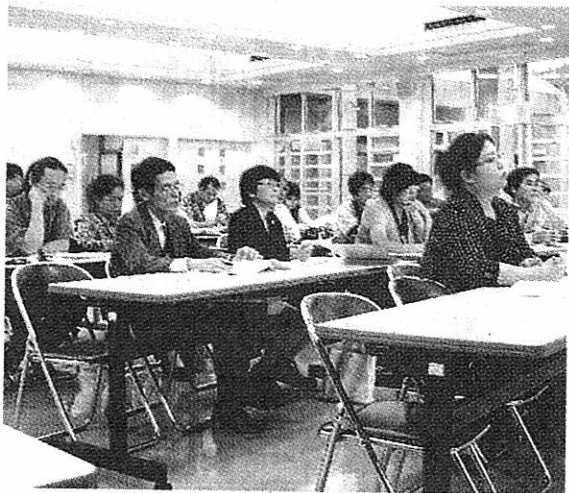
観光ノウハウ習得へ

コーディネーター講座開設

南城市

【南城】地域の歴史・文化、自然を生かし、市民と観光客の交流・体験をテーマにした観光振興を目指す市で、事業の推進役となる「観光コーディネーター養成コース」が十四日、開講した。公募の二十五人が受講。来年三月まで、地域資源調査やマーケット調査、体験ツアーのプログラム作成など観光事業を推進する実践的なノウハウを学ぶ。

新「体験滞在型」めざす



旧知念村から引き継いだ国・県補助の体験滞在交流促進事業「沖縄・日本のルーツが見える心のふるさと整備事業」の一環。受講生は、野外での史跡・自然観察、観光客へのヒアリング調査にも挑戦し、来年三月にはモニターツアーを実施する。

体験滞在型観光の推進を目指し開講した「観光コーディネーター養成コース」は、南城市文化センター・シユガーホール
予定。昨年度事業で、久手堅に「体験交流センター(仮称)」が完成。本年度は「歴史学習体験施設(同)」「海洋体験施設(同)」が建設される。養成講座では、これら三施設の有効活用を視野に入れ、観光振興と地域づくりの企画運営に携わるコーディネーター養成を図る。
人材育成は、同事業の鍵を握る。市観光文化振興課の渡名喜元久課長は「これまで事業にかかわった人々、市民を巻き込